

経営比較分析表（令和3年度決算）

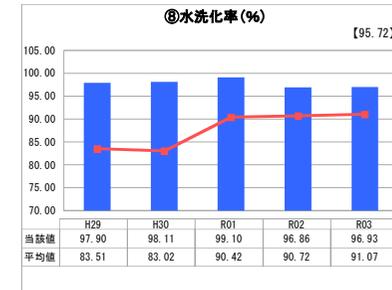
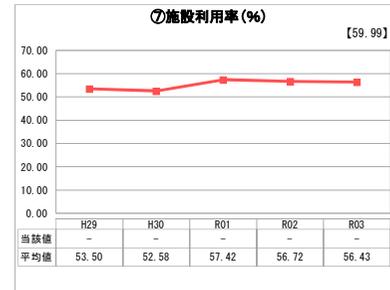
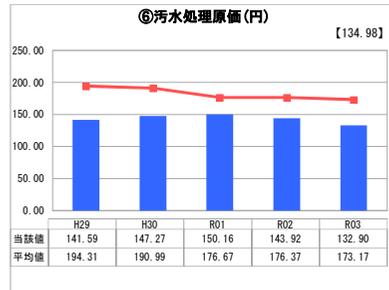
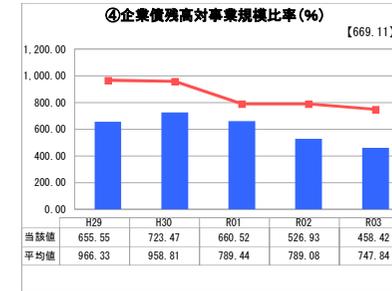
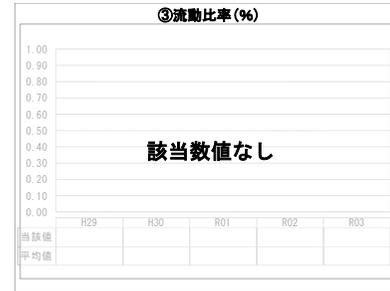
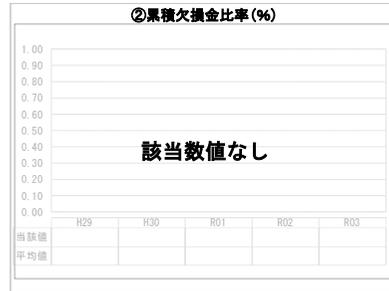
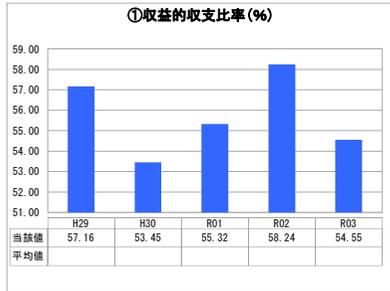
神奈川県 松田町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Cc1 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 86.04 | 92.39 | 1,723 |

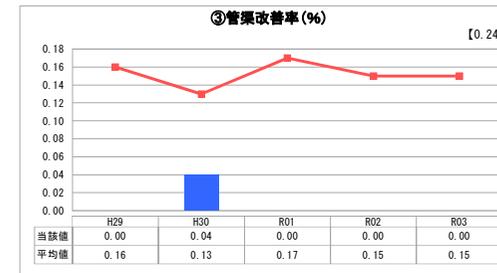
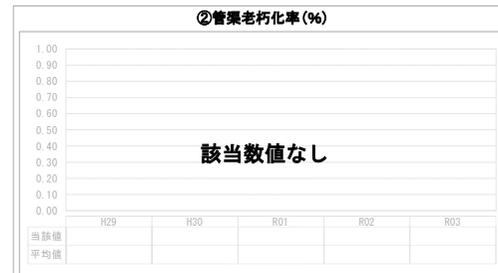
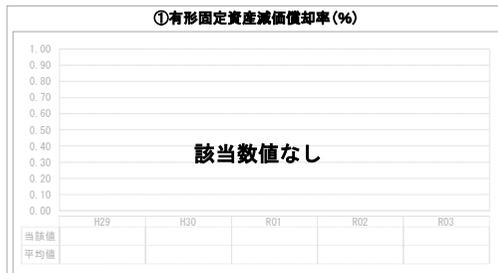
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 10,756 | 37.75 | 284.93 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 9,192 | 1.98 | 4,642.42 |

| グラフ凡例 |
|----------------|
| ■ 当該団体値(当該値) |
| — 類似団体平均値(平均値) |
| 【】 令和3年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

年間有収水量は、年々減少傾向を見せており、今後も減少が続く事が見込まれています。これにより、使用料収入の減少が避けられない状況で、将来の施設更新を見据えた経営の健全性・効率性のために、使用料改定の検討は必須の状態であると言えます。また、今後の更新計画の財源については、起債対応が急増する見込みであるため、企業債残高対事業規模比率は、増加する事が見込まれます。

2. 老朽化の状況について

当町の下水道事業は供用開始後34年を経過しており、管渠更新をはじめとする設備更新は、係る工事費用と財源を勘案した長期的な更新計画が必要となります。当町の施設更新計画では、管渠の耐用年数である50年を迎える前に、毎年度管渠清掃と管路状況の調査を実施し、管渠更新の事前準備と更生効果の向上を図ります。

全体総括

経費回収率が平均を上回り、汚水処理原価が平均を下回るなど、経営面においては改善傾向が見られますが、今後も人口減少に比例した有収水量の減少や、流域下水道事業を含む、下水道事業の維持管理経費の増加など、将来に向けて安定的に事業を運用するため、定期的な使用料改定の検討と、施設更新計画の見直しの検討が必須であると考えています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。